

# 地域とともにある学校づくりフォーラム

令和4年（2022年）1月24日（月）

19:00～21:00

- 1 開会あいさつ
- 2 （仮称）庄内さくら学園の検討状況について  
豊中市の学校運営協議会制度について

- 3 学校と地域の連携にむけて

## 4 講演

「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）とは」

講師：京都光華女子大学 准教授 西 孝一郎 氏

## 5 連絡事項

<資料>

- ・【資料1】庄内地域における魅力ある学校づくり通信 17号
- ・【資料2】義務教育学校リーフレット
- ・【資料3】庄内さくら学園グランドデザイン
- ・【資料4】総合・独自教科概念図
- ・【資料5】講師資料
- ・アンケート

# 庄内地域における 「魅力ある学校」づくり 通信

第17号 令和3年(2021年)12月



この通信は、庄内地域における「魅力ある学校」づくりの検討状況を地域や保護者のみなさまへお知らせするために発行しています。

本号では、令和3年11月19日(金)に開催した第1回(仮称)庄内さくら学園の開校に向けた準備委員会での内容をお伝えします。

## (仮称)庄内さくら学園の検討状況

今年度から、庄内さくら学園中学校、庄内小学校、野田小学校、島田小学校の全教職員が「学校行事」「教務関連」「生活指導」「特別活動」「教科指導」「研究活動」「保健教育」「学校総務」の8チームに分かれ、(仮称)庄内さくら学園をどのような学校にしていくかを議論してきました。

### <今年度の主な決定事項>

#### ○4-3-2制の特色



#### ①入学式・卒業式・ステージ式について

(仮称)庄内さくら学園は、施設一体型の義務教育学校であることから、入学式は1年生、卒業式は9年生のみです。現行の小学校6年生の卒業式、中学校1年生の入学式はありません。その代わりに、「4-3-2制」の学年区切りごとにステージ式を実施します。

	時期	内容
第1ステージ 修了式	4年生	第1ステージを終えるにあたって、自分に「つながる」家族や仲間、大人とのつながりから学んだことや感謝の気持ちを発表し、次のステージへの決意を表明します。
第2ステージ 修了式	7年生	第2ステージを終えるにあたって、これまでの「学び」を振り返り、これから自分自身の課題や目標を明確にして、次のステージで主体的に学んでいく決意を表明します。
第3ステージ 修了式 (卒業式)	9年生	第3ステージ(義務教育課程)を終えるにあたって、義務教育学校で学んできたことのまとめと自分自身の将来・未来についての希望と決意を表明します。



発行 豊中市教育委員会事務局 学校教育課 計画係  
電話：06-6858-2706 F A X：06-6846-9649  
E-mail：kyokeikaku@city.toyonaka.osaka.jp

豊中市 魅力ある学校



←市ホームページにはカラー版「通信」を掲載しています。

## ②時間割

第2ステージの5年生から一部教科担任制が導入されることから、授業時間を50分とします。

## ③宿泊行事

宿泊行事を各ステージの「まとめ」として位置づけ、各ステージの最終学年である4・7・9年生で宿泊行事を実施。

(実施内容)4年生:自然体験+仲間づくり(第2ステージへの決意確認)

7年生:広島平和学習+自然体験+仲間づくり(第3ステージへの決意確認)

9年生:沖縄平和学習+自然体験+仲間づくり・思い出づくり

※(仮称)庄内さくら学園の開校に向けて、令和4年度、令和5年度には、以下のような変則的な宿泊行事となります。

	令和3年度(本年度)	令和4年度	令和5年度(開校)	令和6年度
4年生		自然体験	自然体験	自然体験
5年生	林間	林間		
6年生	修学旅行(広島)	修学旅行(広島)		
7年生			キャンプ	広島平和学習+自然体験
8年生	キャンプ	キャンプ		
9年生	修学旅行	修学旅行	修学旅行(沖縄)	修学旅行(沖縄)

## ④児童・生徒会

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
第1ステージ				第2ステージ			第3ステージ	
なし			・授業内で委員会活動 ・年に数回、代表者は児童生徒会活動に参加	・児童生徒会活動(各学年の代表が参加)				

(参考:現状)

- ・5、6年生が授業内に委員会活動(※島田小学校は、4年生から)
- ・7～9年生が生徒会活動(各学年の代表が参加)

### (仮称)庄内さくら学園の通学路について

今年度、(仮称)庄内さくら学園の開校に向けて、以下の日程で通学路のワークショップを実施いたしました。ワークショップで出た意見は、市HPに掲載しています。

野田小学校区:8月3日(火)(参加者:PTA)

島田小学校区:9月15日(水)(参加者:PTA)、11月29日(月)(参加者:全保護者対象)

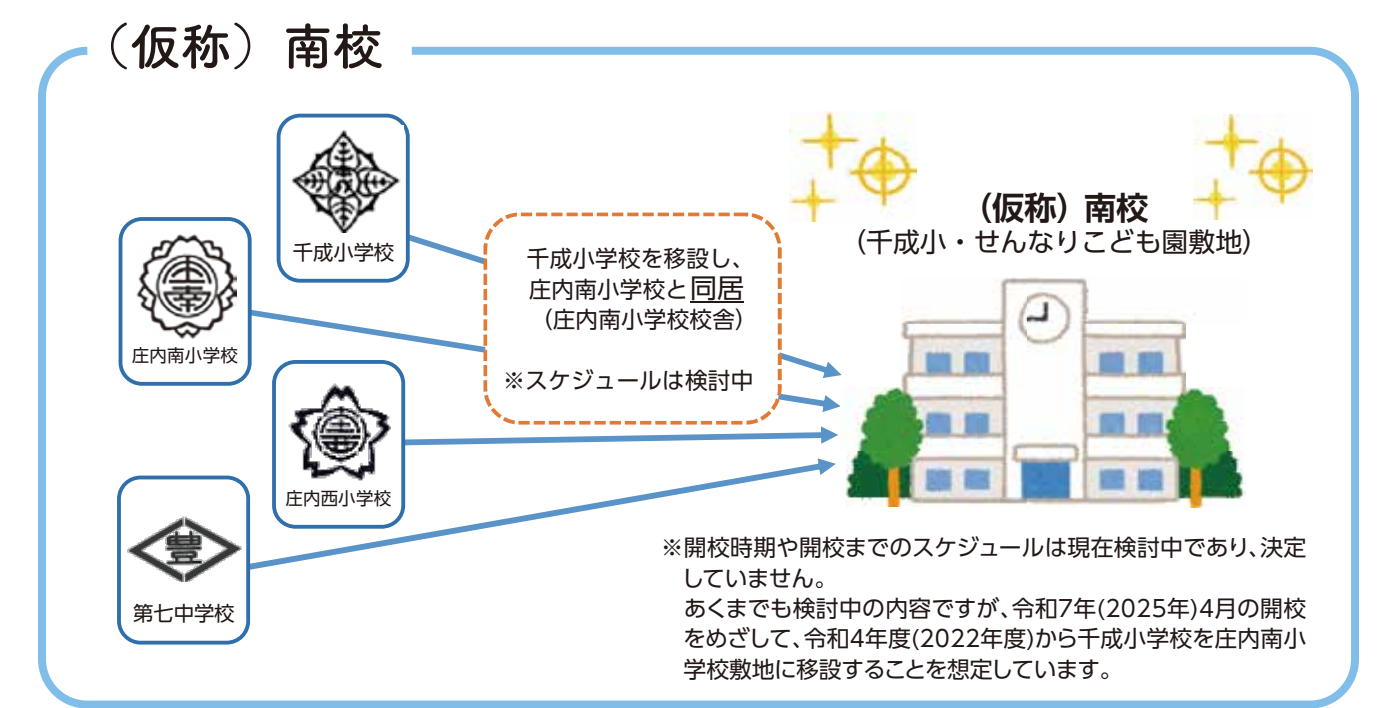
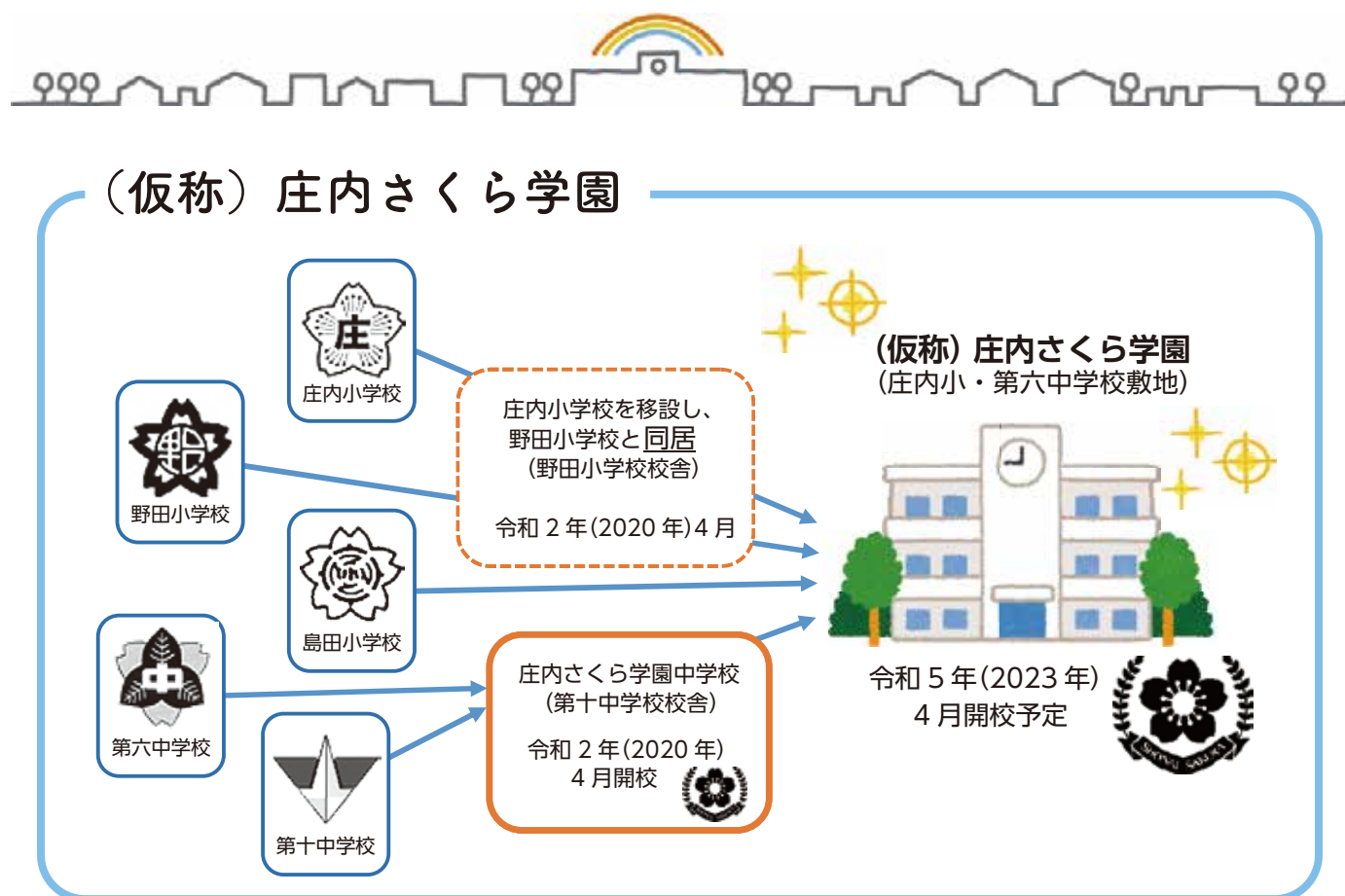
庄内小学校区:9月21日(火)(参加者:PTA、地域見守り隊)

3小学校区合同:10月26日(火)(参加者:PTA)



【開校準備委員会・通学路ワークショップに関する詳しい情報は、コチラ↑】

# 開校までのスケジュールイメージ



## 【これまでの経過】

- 庄内地域の小・中学校では、小規模校化が進行し、人間関係の固定化や教育活動の制約などの課題が深刻化しています。また、家庭事情を背景とした生活・学習課題に直面している子どもたちがいます。
- こうした課題を解消するためには、多様な出会いの中で、さまざまなものの見方や考え方、価値観に触れることができるように一定の学校規模を確保するとともに、義務教育9年間の学びを意識した指導や教育活動の工夫などに取り組み、教育内容の質的充実を図ることが求められています。
- そこで、庄内地域の実情に応じた教育効果を得られる最善の方策として、既存の小学校6校と中学校3校を施設一体型の義務教育学校2校に再編する「庄内地域における『魅力ある学校』づくり計画」を平成29年(2017年)8月に策定しました。



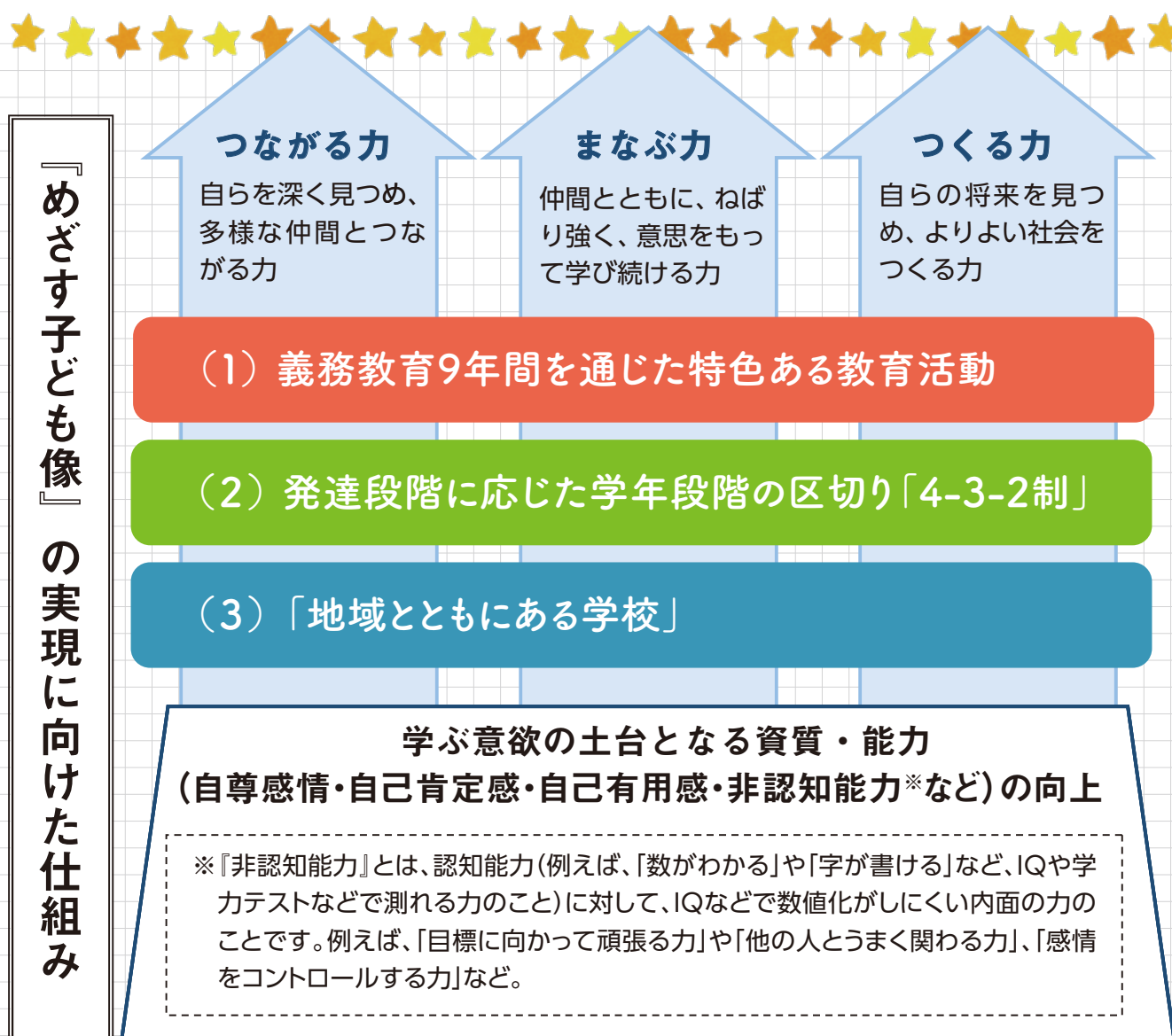
豊中市教育委員会事務局 学校教育課  
 電話：06-6858-2705 FAX：06-6846-9649  
 E-mail：kyokeikaku@city.toyonaka.osaka.jp





【2校のめざす子ども像】

自ら考え、行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる子ども



(仮称)南部コラボセンターが子どもの学びや育ちを応援します！

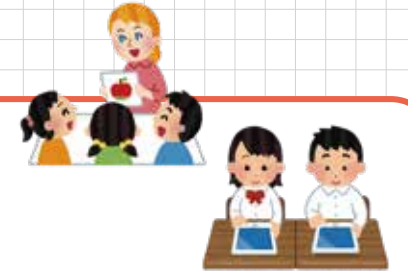
(仮称)庄内さくら学園と一体的に整備する(仮称)南部コラボセンターが2校の義務教育学校と連携することで、子どもたちの学びや育ちをより一層推進します。

- 学校と公共図書館の連携・支援  
公共図書館のレファレンス(調べものの相談)機能を提供し、教職員や児童生徒を支援します。
- 家庭学習(放課後学習)の支援 ～学力の定着・家庭での学習習慣の定着を図ります～  
放課後を利用して、習熟度に応じたプリント学習や宿題に取り組める体制を作ります。
- 家庭教育の支援 ～学校・地域・福祉関係者等をつなぎます～  
「非認知能力※」の育成講座等の開催や地域人材の養成を行い、家庭の教育力向上をめざします。
- 教育相談機能の充実 ～身近な場所で子育てについて相談できます～  
スクールカウンセラー(SC)・スクールソーシャルワーカー(SSW)と臨床心理士等が連携します。

『めざす子ども像』の実現に向けた仕組み

(1) 9年間を通じて一貫性のある教育を行います

義務教育学校の魅力(特色)の主な内容です。現在検討を進めており、詳細な制度設計や予算化が必要な内容(確定していない内容)を含んでいます。



- 1～9年生までの異学年交流  
9学年が一緒に学校行事や集団活動に取り組むことで、多様なものの見方や考え方に触れる機会を創出します。
- 5年生からの一部教科担任制  
5・6年生へ専門性の高い教員がそれぞれの教科指導を行うことで、より分かりやすく専門的に学ぶことができます。
- 英語教育の充実～AET(外国人英語指導助手)の常駐～  
1年生から英語に日常的に触れられる環境を整えます。
- ICT教育の充実  
タブレット端末の1人1台配備のほか、教職員がICT教育を推進する環境を整えます。
- 特色ある教育活動の展開  
9年間で育みたい力をつけるため、地域(調べ学習、ゲストティーチャー)、生き方(キャリア教育)、表現(演劇、ミュージカル、音楽活動)、非認知能力※の育成などをテーマにした「特色ある教育活動」を行います。
- 食育の推進  
(仮称)庄内さくら学園では、全学年全員に給食を提供し、給食を生きた教材として継続的な食育を進めます。(仮称)南校の給食については、現在検討中です。

(2) 9年間(前期課程6年・後期課程3年)の接続をなめらかにします

全国的な傾向として、子どもの身体の発達が2～3年ほど早くなっていたり、中学生になると不登校や問題行動の発生率が大きく増加したりしています。

義務教育9年間を通じて一貫性のある指導を行うとともに、学年段階を「4年-3年-2年」の3段階に区切り、指導区分ごとに「つきたい力」や具体的な「目標」などを設定し、各段階に応じた教育活動の工夫や充実を図ることで、「確かな学力の向上」や「豊かな人間性の育成」などを図ります。



	第1ステージ				第2ステージ			第3ステージ	
指導区分	学級担任を中心としたきめ細かな指導				教科担任制の導入			進路を見据えた学習指導の充実	
学習指導	義務教育9年間を見通した系統的で一貫性のある学習指導・生徒指導								
生徒指導	良い習慣の形成・確立				自立した生活			主体的な生活・生徒自治	
学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
教育課程	小学校の学習指導要領を準用【前期課程】						中学校の学習指導要領を準用【後期課程】		

(3) これまで以上に「地域とともにある学校」をめざします

豊中市では様々な地域団体が活動し、現在の学校運営においても多くのご協力をいただいています。新しい義務教育学校では、学校が掲げる「めざす子ども像」や「教育目標」などを共有するとともに、その実現に向けた方策や課題対応などをともに検討できるよう、これまで以上に保護者や地域住民の参画を得て学校を運営する豊中型「地域とともにある学校」の仕組みを構築します。



【学校教育目標】

自ら考え、行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる子どもを育てる

めざす学園像

- 子どもを主役とした創意あふれる学校
- 地域とともに育ち、地域をつくる学校
- 子どもたちが助け合い、ともに育ちあう学校

めざす子ども像

- ・社会のルールや規律を大切にし、誰もが安心できるつながりを大切にする子ども
- ・自分の良さに気づくとともに、互いを認め合い行動できる豊かな人権感覚をもった子ども
- ・自ら進んで学び、主体的に考え、判断し、自分を表現できる子ども
- ・様々な人との出会いを大切に多様な生き方を学び、自らの生き方を見つめる子ども
- ・規則正しい生活習慣を身につけ、社会生活に必要な健やかな体をつくらうとする子ども
- ・自らの将来に希望をもって自らの生き方・働き方（キャリア）をつくらうとする子ども

めざす教職員像

- 子どもに寄り添い、きめ細やかに指導する教職員
- 目標に向かって意欲的に研究し、協働する教職員
- 全ての子どもの学びと育ちを支援する教職員

めざす子ども像の実現に向けて、子どもたちに「3つの力」を段階的に育成します

つながる力 自らを深く見つめ、多様な仲間とつながる力	まなぶ力 仲間とともに、粘り強く意志をもって学び続ける力	つくる力 自らの将来を見つめ、よりよい社会をつくらうとする力
◆ 様々な人や生き方との出会いを通して、自らの生き方を深く見つめ直す力	○ 仲間とともに、学ぶ喜びを実感し、協働して課題解決に向かう力	◆ 仲間とのつながりと学んだことを活かし、よりよい社会づくりについて考え、行動できる力
<b>第3ステージ(8-9年生)</b>		
◆ 仲間とともにものごとを実現する喜びを感じる力 ◆ 自他の違いを認め仲間を大切にできる人権意識と実践力	○ 自ら考え、判断し、ねらいを持って表現する力 ○ 対話を通して、自らの学びや生き方を深く考える力	◆ 集団や社会の一員として責任をもって行動する力 ◆ 仲間と協働した行事や自治活動をとおして、学校づくりに主体的に参画する力
<b>第2ステージ(5-7年生)</b>		
◆ 自分の良さに気づき、気持ちや考えを表現できる力	○ 基礎基本の習得を通して、わかることの喜びを実感できる力	◆ 将来の暮らしを支える基本的な生活習慣をつくる力
<b>第1ステージ(1-4年生)</b>		

「3つの力」を育成ために、重点課題のもとに具体的な教育活動を企画・実施していきます

(具体的な教育活動については、今後の検討の中で追加・変更される場合があります)

【重点課題】	【重点課題】	【重点課題】
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一人一人が安心して、安全に過ごすことのできる温かい集団をつくる。</li> <li>● 自他の良さを認め、自尊感情、自己肯定感を高めるとりくみをつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対話を大切にした主体的な学びを促す授業をつくる。</li> <li>● 基礎基本の定着をめざし、学びをあきらめない学習システムと学習集団をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他者との協働する経験を大切にし、ともに課題を解決する機会をつくる。</li> <li>● 生き方のモデルに出会い、自らの生き方を見つめ、将来展望を持つ機会をつくる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な異学年交流・校種間交流</li> <li>多様な共生教育の実施</li> <li>4-3-2制を活かした行事運営</li> <li>全員喫食による食育の充実</li> <li>5年からの合同クラブ活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生からAETによる英語教育</li> <li>社会の変化に対応した情報活用能力の育成</li> <li>5年生から教科担任制導入</li> <li>非認知スキルの向上</li> <li>家庭学習支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童会・生徒会の自主活動</li> <li>9年間にわたるキャリア教育</li> <li>わたしの未来探求プロジェクト</li> <li>大阪音楽大学との連携授業</li> <li>平和教育・人権教育の充実</li> </ul>

地域・福祉機関と協働し、子どもたちの学びと育ちを総合的に支援するシステムを構築します

<p>【学び合い高め合う教職員集団】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の研究活動の充実</li> <li>校内研究の積極的な発信</li> </ul>	<p>【地域に根差したコミュニティスクール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域と協働した見守り活動</li> <li>学校ボランティアの充実</li> </ul>	<p>【関係機関と連携した福祉的システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南部コラボセンターとの連携</li> <li>子育て支援活動との連携</li> </ul>
---	--	--

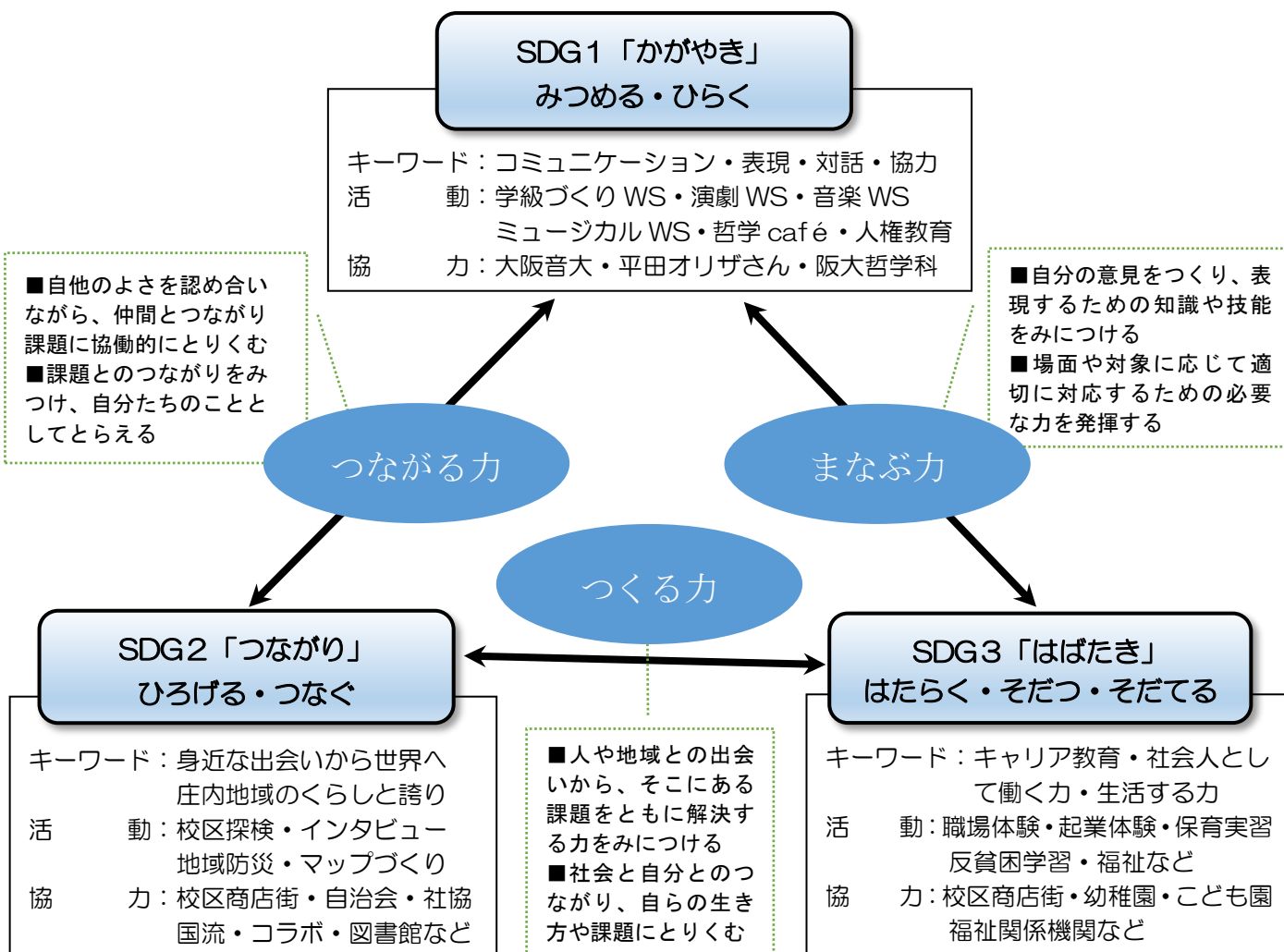
総合的な学習「未来探求プロジェクト」・独自教科「庄内市民科 SDG プログラム」(概念案)

子どもたちにかける願い

- 社会ルールを大切にし、人への優しさを大切にする子ども
- 自他のよさに気づき、認め合い共生社会をつくろうとする人権感覚を持つ子ども
- 自ら学び、考え、表現できる子ども
- 出会いから素直に学び、自分を見つめる力のある子ども
- 将来に希望を持ち、自らの生き方や働き方をつくろうとする子ども
- 

総合的な学習「わたしたちの未来探求プロジェクト」と独自教科「庄内市民科 SDG プログラム」について

- 庄内さくら学園の生活科、総合的な学習の時間「わたしたちの未来探求プロジェクト」と連動させながら特に系統的に学ぶ独自教科「庄内市民科 SDG (庄内・大好き・元気) プロジェクト」を組み立てていく。
- 総合的な学習や独自教科が取り扱う内容を、子どもたちのニーズから、  
「SDG1 (自らの生き方を) みつめる・ひらく」  
「SDG2 (庄内から世界へ) ひろげる・つなぐ」  
「SDG3 (社会の一員として) はたらく・そだつ・そだてる」  
の3領域に整理し、開校に向けてSDG1から段階的に具体化していきたい。
- プログラムの展開にあたっては、地域社会(庄内地域)だけでなく、豊中市の様々な「強み」を最大限に生かしたものと、学校と地域・社会が協働して子どもたちの学びを支援する視点を大切にしたい。



2022年1月24日

豊中市 コミュニティ・スクール研修会

CSマイスター  
京都光華女子大学  
西孝一郎

## こどものために みんなで つなぐ 地域とともにある学校 コミュニティ・スクール

### ～地域学校協働活動との一体的な推進～

#### I コミュニティ・スクールの目的

#### 1 コミュニティ・スクールは何のため？（目的） 「コミュニティ・スクールの作り方」(文部科学省)

- (1) これからの時代を生きる子供たちのために
- (2) 社会総掛かりで子供たちを育む
- (3) 連携・協働体制の構築
- (4) 義務教育9年の学びの充実
- (5) 地方創生を目指して

#### (1) これからの時代を生きる子供たちのために ⇒ 「未来の創り手を育てる」

キーワード「子供たちのために」→「こどものために」

- ・今の「こどものために」、これからの時代を生きる「こどものために」
- ・「子どもの幸せ」をつくっていく

熟議

#### (2) 社会総掛かりで子供たちを育む体制を作るために ⇒ 「学校（社会）はみんなで作る」

キーワード「社会総掛かりで」→「みんなで」

- ・「みんなで」できることを考える⇒学校は「みんなで」つくるもの
- ・「みんなで」活動すると、「みんな」が楽しくなる⇒学校が好きになる

協働

#### (3) 連携・協働体制の構築のために ⇒ 「子どもはみんなで作る」

キーワード「連携・協働体制」→「つなぐ」

- ・教育は人を「つなぐ」「つなぐ」のが学校
- ・「学びは人と人の間で起こる」

マネジメント

#### 2 「地域とともにある学校」とは

- 放課後子供教室
- 地域学校協働活動
- コミュニティ・スクール（学校運営協議会）
- 学校評議員
- 学校関係者評価

←これらの総称

こどものために みんなで つなぐ 地域とともにある学校 ⇒ コミュニティ・スクール

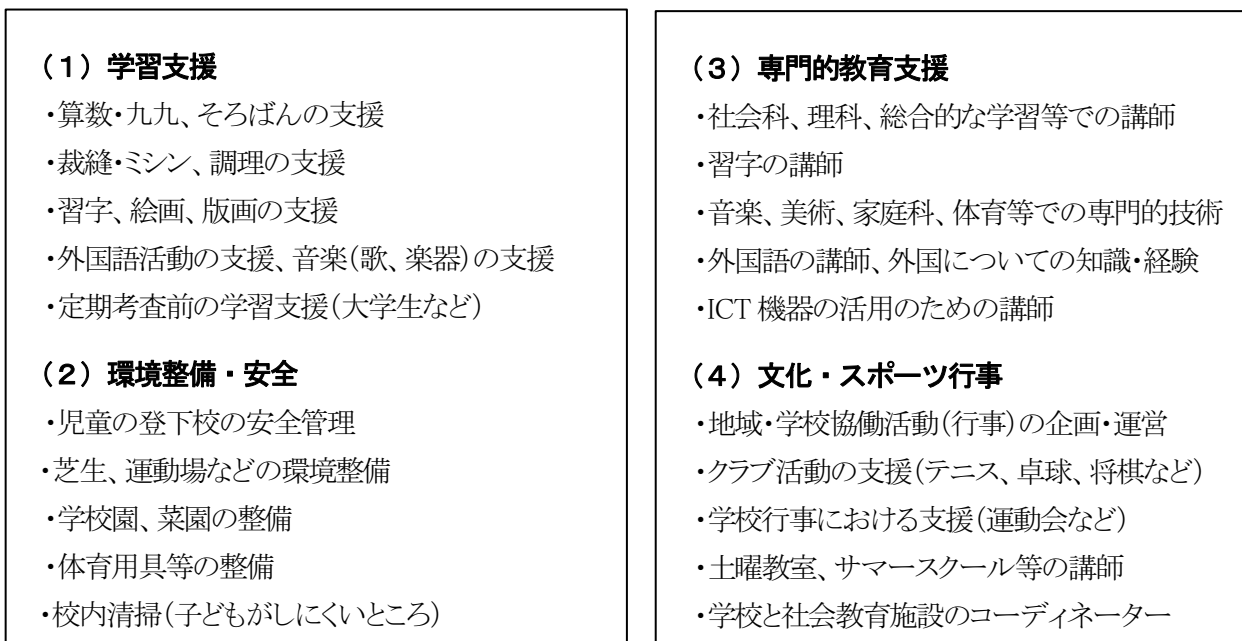
コミットする = 積極的にかかわる、深くかかわる、責任をもって取り組む



## II 地域学校協働活動と学校運営協議会の一体的な推進

### 1 「学校支援ボランティア」で「コミットする」…積極的にかかわる

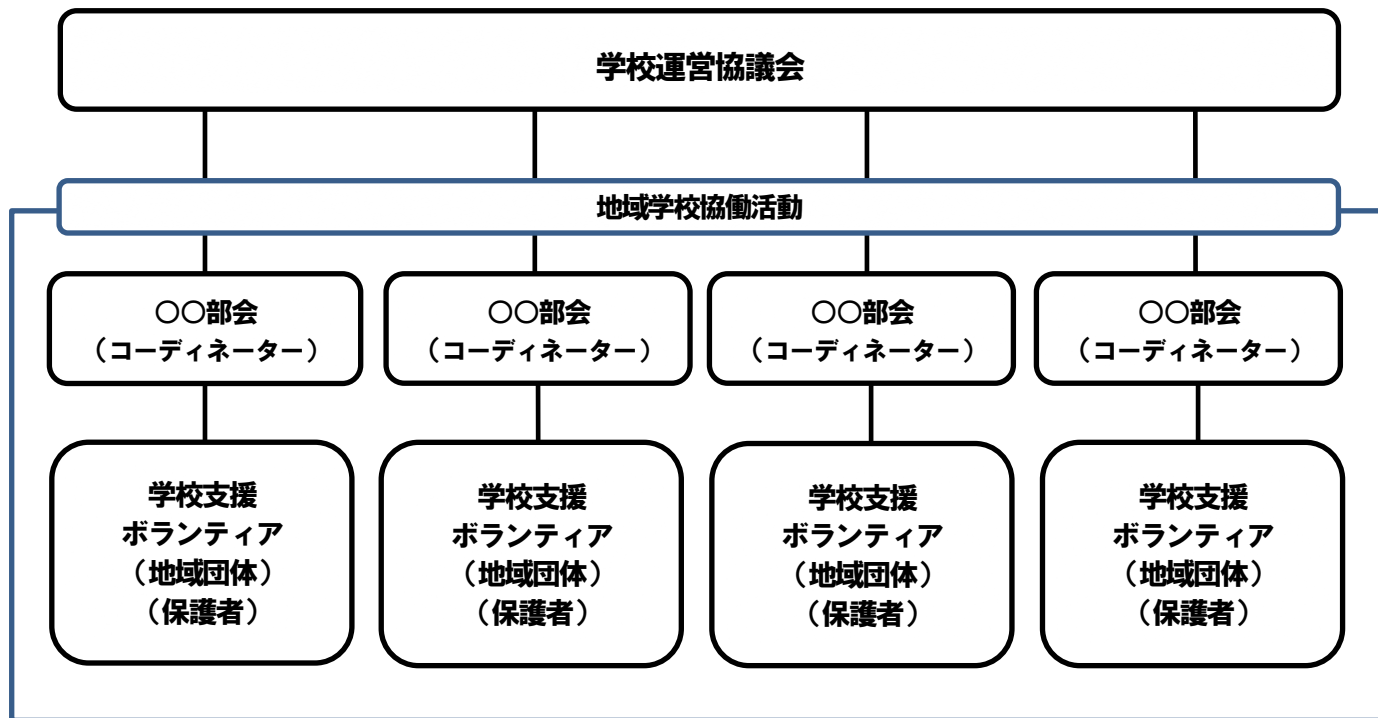
「学校支援ボランティア」：学校で行われる地域の方や保護者によるボランティア活動



(参考 資料1)

学校支援ボランティアを「つなぐ」…地域学校協働活動と学校運営協議会をつなぐ

【図1】 既存の組織をつなぎ合わせる・・・「新しい組織」ではなく「再構成」



学校運営協議会制度を導入した学校⇒コミュニティ・スクール

## 2 「学校運営協議会」で「コミットする」…積極的にかかわる

### (1) 学校運営協議会のメンバー

- ①「保護者」……………地教行法
- ②「地域住民」……………地教行法
  - 「その他教育委員会が必要と認める者」……………地教行法
- ③「その学校の校長や教諭」（校長）……………文科省「手引き」で追加
- ④「その学校の校長や教諭」（教職員）……………文科省「手引き」で追加
- ⑤「大学教授等教育行政や学校教育に識見を有する有識者」（学識経験者）……………文科省「手引き」で追加
- ⑥「社会教育関係者」（関係行政機関職員など）……………文科省「手引き」で追加
  
- ⑦「その他委員」……………市町村独自で追加
- ⑧「学校関係者（卒業生等）」……………市町村独自で追加

### (2) 学校運営協議会の役割 ← 全部やらなくてはいけないの？

#### ①学校運営への参画や支援・協力（改正）（任意）

「保護者及び地域住民等による学校運営への参画や……支援・協力を促進」

#### ②学校運営全般についての意見（任意）

「協議会は……運営全般について、教育委員会又は校長に対して意見を述べることができる。」

#### ③教職員の任用に関する事項（改正）（任意）

「教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる。」

「協議会による教職員の任用に関する意見の対象となる事項について、教育委員会規則で定めることとする。」

#### ④学校運営方針の承認（必須）

「基本的な方針を作成し、協議会の承認を得るものとする。」

これだけが「学校運営協議会」の条件→あとは、各地域の特徴を生かす

### (3) 学校運営方針の承認 ← 「承認」って、どういう意味？

#### ①学校運営方針の「承認」だけでいいのか

- ・学校運営方針の承認さえすれば「学校運営協議会」⇒コミュニティ・スクール
- ・それだけでいいのか 「子どものため」になることをしよう
- ・学校支援ボランティアを生かす。でも、「子どものため」になるなら、他のことでも←地域を生かす

#### ②「承認」は、する側の主体性に

- ・「わかりました。では、私たちは……しましょう」←承認

- ・「紙パックを持ってきてください」←依頼

- ・「生活科でおもちゃを作ります」←方針

- ・「わかりました。じゃあ、牛乳パックを持っていきます。ジュースのパックでもいいですね。」←承認

決裁型の「承認」よりも、話し合い型の「承認」を

OK から Let's へ

### III 小中一貫教育と学校運営協議会の一体的な推進

#### 1 義務教育 9 年間の学びの充実のために

##### (1) 小中一貫教育はリレーゾーンをつくる⇒義務教育 9 年の学びの充実

- ・リレーゾーンをつくる⇒バトンを「つなぐ」  
小学 6 年生と中学 1 年生は、小中学校のリレーゾーン  
できるだけスピードを緩めないバトンパスを



どのようにして、リレーゾーンをつくるのか

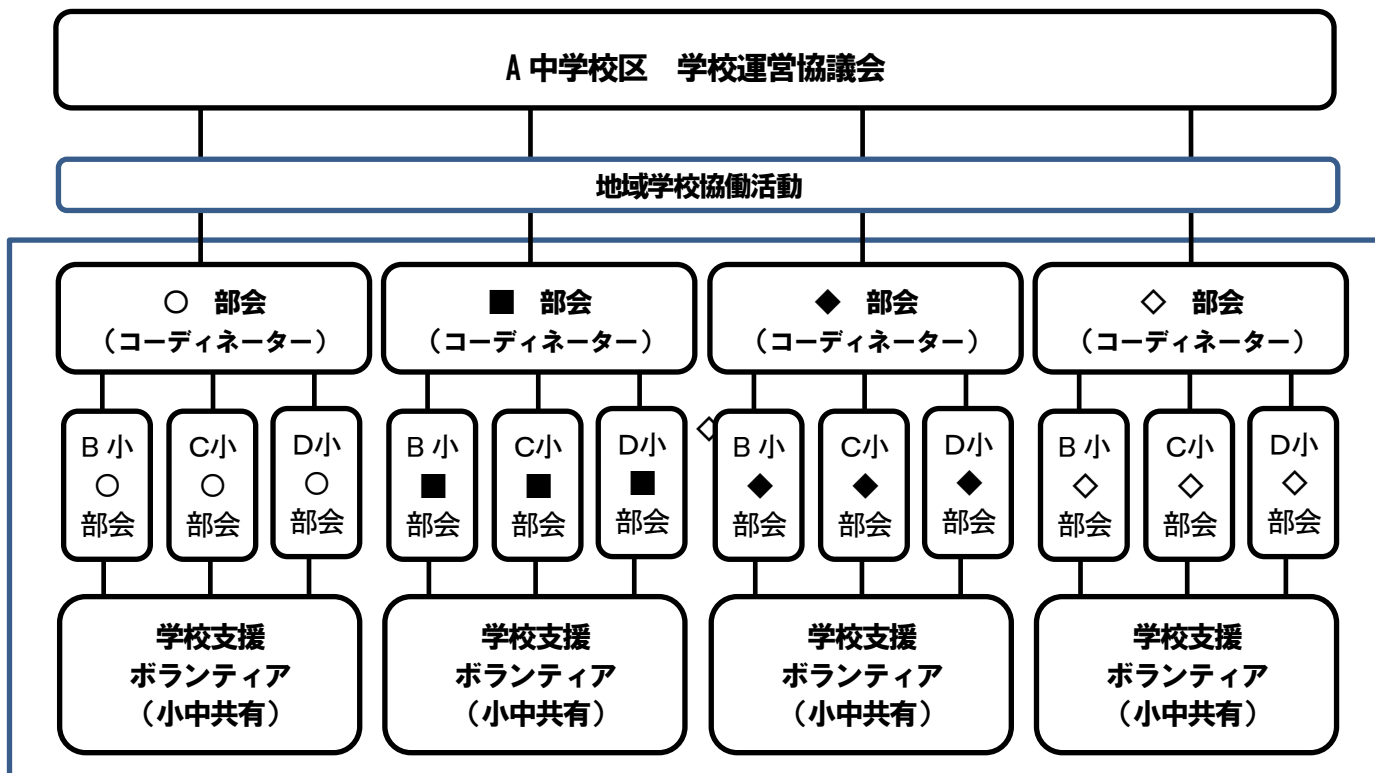
##### (2) (縦につなぐ) 小中一貫教育と (横につなぐ) コミュニティ・スクールの一体的な推進

- ・小中一貫教育とコミュニティ・スクールは両輪の関係  
自転車型の同時推進 パートナーシップ  
小中一貫教育は自転車の前輪……………方向性やバランス  
コミュニティ・スクールは自転車の後輪……駆動力  
→中学校区で一つの学校運営協議会も可 (図 2 あるいは図 3)
- ・中学校区で「目指す子ども像」を共有 (わかりあう)  
→「子どもは、みんなで育てる」という意識が高まる  
→地域の未来をつくる



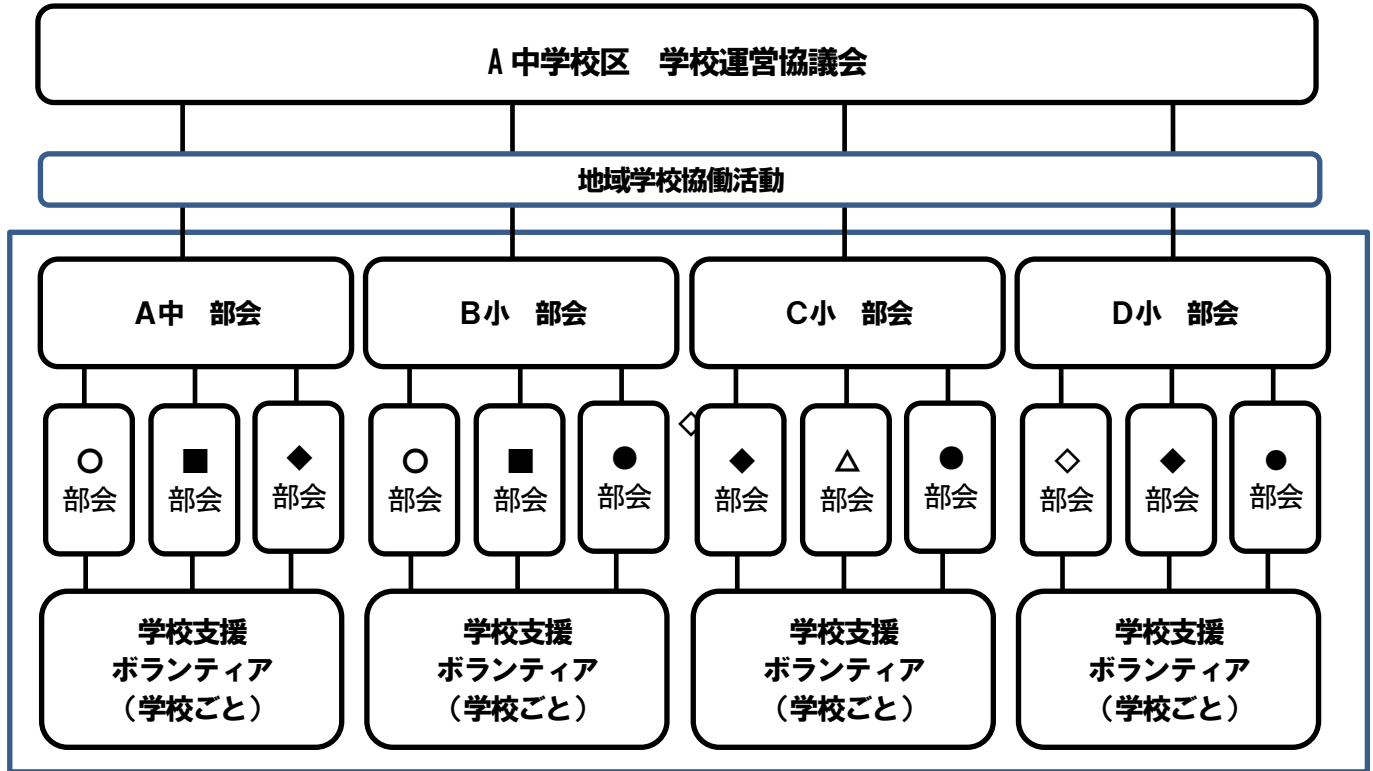
#### 2 小中一貫コミュニティ・スクールの組織

##### (1) 小中学校が同じ部会をもつ ⇒ 学校支援ボランティアの共有がしやすい



【図 2】 小中一貫コミュニティ・スクールの組織 (例 1)

(2) 小中学校がそれぞれ別の部会をもつ ⇒ すぐに始めやすい



【図3】 小中一貫コミュニティ・スクールの組織 (例2)

#### IV コミュニティ・スクールの成果として期待できること

### 1 学校と地域が、今と未来の「こどものために」 未来の創り手を育てる

#### (1) 「熟議」を、今と未来の「こどものために」

- ・ゴール（目的）を明確にする…「課題解決」なのか「相互理解」なのか
- ・テーマ設定を大切に…「～しよう」「～だろうか」「～をつくらう」→前向きなテーマ「夢」を語る  
→地域のことを考える主体性

#### (2) 「共助」を、未来の「こどものために」

- ・共に助け合う姿（共助）を子どもに伝える
- ・私たちの町では、困っている人がいたら助ける 助けを求めている人に応えるのを一生の仕事に  
→「共助」の精神をもつ「人」が育つ

### 2 学校と地域が「みんな」で 学校（社会）はみんなで作る

#### (1) 「みんな」で活動すると、学校が好きになる

- ・みんなで活動する→学校が好きになる→帰属意識が高まる→自己肯定感



- ・学校が好きな地域→学校が好きな保護者→学校が好きな子ども→学力が高い  
→自己肯定感をもつ子どもが育つ

## (2) 「みんなで」つくる「みんなの学校」

- ・みんなの学校は、みんなでつくる
- ・卒業生が高校に入って学習ボランティアに  
→学校はみんなでつくるという考えが広がる 地域で育つ子どもの自尊感情

## 3 学校と地域を「**つ**なぐ」 子どもはみんなで育てる

### (1) 学校支援ボランティアで「つなぐ」

- ・見守り活動（朝夕の登下校指導）、図書館ボランティア、授業支援ボランティア
- ・全国で600万人以上のボランティア。学習の場での協働  
→子どもの喜ぶ顔が見られる 地域・保護者が学校とつながる

### (2) みんなで育ててくれる…人を「つなぐ」

- ・「社会が半分育ててくれる」
- ・「子育ては白い紙を重ねるようなもの」…みんなで紙を重ねる  
→「子どもは、みんなで育てる」という意識

## 4 地域の人と「**と**もに」育つ

### (1) コミュニティ・スクールで育った子どもが、大学生になって

- ・地域の人との存在と交流があったからこそ、自分らしさ、ありのままの自分が出せた。(東京)
- ・自分で拓く機会を与えてくれた、教えてくれた、提供してくれたコミュニティ・スクール(京都)
- ・自分の成長を喜んでくれる地域の方の存在が、自己肯定感につながった。次は教員としてかかわる。(山口)
- ・子どものころにしてもらったことを、次の世代に伝えていきたい。力を次に伝える歯車になりたい。(福岡)  
→自分が受けてきたものを次に伝えようとする「人」が育つ

### (2) 地域の人とともに育った子どもが、社会人になって

- ・花よりも花を咲かせる土になれ  
→人のためになろうとする「人」が育つ

### 終わりに

- ・こどものために 「未来の創り手を育てる」
- ・みんなで 「学校(社会)はみんなでつくる」
- ・つなぐ 「子どもはみんなで育てる」
- ・とにもある学校

### コミュニティ・スクール

受付日	年 月 日	受付者		登録番号	
-----	-------	-----	--	------	--

ふりがな			生年月日	
氏名			昭和 平成	年 月 日 ( 歳)
連絡先	自宅電話		メール アドレス	
	携帯電話			
住所	〒		特技	
			資格	
勤務先 学校名 (学年)			所属 団体名	
活動希望 または 活動可能	登下校	<input type="checkbox"/> 10分間いってらっしゃい隊 【 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金】		
		<input type="checkbox"/> 下校時見守り（声かけ隊） <input type="checkbox"/> 新1年生下校時付添		
	図書室	<input type="checkbox"/> 図書室休み時間開放 <input type="checkbox"/> 図書室飾り作り <input type="checkbox"/> 読み聞かせ <input type="checkbox"/> 本の整理		
	授業	<input type="checkbox"/> 裁縫・ミシン <input type="checkbox"/> 調理 <input type="checkbox"/> 習字 <input type="checkbox"/> 絵画 <input type="checkbox"/> 版画 <input type="checkbox"/> そろばん		
		<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 算数・九九 <input type="checkbox"/> 水泳 <input type="checkbox"/> 音楽（歌・楽器）		
	学習	<input type="checkbox"/> 校外学習付添 <input type="checkbox"/> プール監視 <input type="checkbox"/> 語学（ 語）		
	環境	<input type="checkbox"/> 芝生水まき <input type="checkbox"/> 校内清掃 <input type="checkbox"/> 菜園 <input type="checkbox"/> 体育用具等修理（ ）		
	遊び	<input type="checkbox"/> 囲碁 <input type="checkbox"/> 将棋 <input type="checkbox"/> 折り紙 <input type="checkbox"/> お手玉 <input type="checkbox"/> コマ回し <input type="checkbox"/> 手芸		
	部活動	<input type="checkbox"/> 野球 <input type="checkbox"/> テニス <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="checkbox"/> 卓球 <input type="checkbox"/> 吹奏楽 <input type="checkbox"/> 美術		
行事	<input type="checkbox"/> 運動会準備 <input type="checkbox"/> 運動会当日（受付・片付け）			
その他の活動希望・ ご意見等				

活動可能な日（○または時間帯を記入）							
曜日	月	火	水	木	金	土	日
午前							
午後							
16時以降							
【上記以外】 いつでも可 ・ 不定期 ・ 学校休暇期間 ・ 仕事休暇日 ・ その他（ ）							

備考
----